豊中市
埋蔵文化財年報

THE ANNUAL REPORT '91 & '92

Section Of Cultural Heritage Management, TOYONAKA CITY

VOL. 2
May, 1994

豊中市
埋蔵文化財年報
VOL. 2

豊中市教育委員会

1994（平成６）年３月

※表紙の写真は、熊野田遺跡１次調査　溝１

はじめに

豊中市は大阪府の北西部、猪名川と千里丘陵によって育まれた沃野の中にあります。そして、太古より人々が生活を営みました痕跡である遺跡が数多く残されております。

豊中市では、開発や建築に伴って破壊の危機にあるこれらの遺跡を調査し、その成果を資料として活用できるように努力してまいりました。そして、これら発掘調査で得た成果は精確かつ充実した報告として、すみやかに公表されることが期待されております。しかし、発掘調査で得られた資料を整理し、報告するまでの作業には多くの時間と労力を必要とします。そこで、年毎の調査成果の概要を速報できるものとして、本書を作成しました。

本書が、文化財の保護、そして理解を深める一助となれば幸いに思います。

平成6年3月31日

豊中市教育委員会
教育長　青　木　伊　織

目　次

I　開発および建築確認申請と試掘調査……1
II　発掘調査と市内の遺跡……33
III　発掘調査の概要　1991(平成3)年度……43
IV　発掘調査の概要　1992(平成4)年度……61
V　普及・啓発活動と刊行物……79
VI　クローズアップ'91～'92 ……85

例　言

1．本書は1991(平成3)年度・1992(平成4)年度の豊中市における埋蔵文化財に関わる事業の状況、および調査成果の概要について報告するものである。

2．発掘調査のうち、国庫補助事業および重要遺構確認調査については、豊中市教育委員会が主体となり、受益者負担の発掘調査については、それぞれの調査毎に調査団を編成し、これに埋蔵文化財担当職員が出向して調査を行っている。なお、調査団の団長には亥野彊氏（神戸国際大学非常勤講師・日本考古学協会会員）にご負担をおかけしている。

3．第II章(3)「市内における遺跡の概要」は、1992(平成4)年度12月に改訂した『市内遺跡分布地図』の刊行にあわせて、掲載することとした。

4．本書の製作にあたっては、第III章「発掘調査の概要　1991(平成3)年度」および第IV章「発掘調査の概要　1992(平成4)年度」はそれぞれ調査の担当者が、また第VI章「クローズアップ'91～'92」は清水　篤が、そのほかは橘田正徳が執筆した。また、編集等については三村多喜子、木村　淳の助力を得て、橘田正徳が担当した。

5．本書製作にあたり、第II章「発掘調査と市内の遺跡」の蛍池東遺跡第5次調査の概要および同「他機関による市内の調査　1992(平成4)年度」について、㈶大阪文化財センター　金光正裕氏、合田幸美氏よりご助言、ご協力いただきました。記して、感謝いたします。

6．それぞれの発掘調査においては、土地所有者、施工業者、また近隣の住民の皆様に深い御理解と御協力をいただきました。記して、感謝いたします。

7．第III章及び第IV章「発掘調査の概要」中の調査地点位置図の縮尺は5000分の1である。